

「防災4.0」未来構想プロジェクト 有識者提言【概要】

I. 総論

- 「防災4.0」の位置付け
 - ・これまでの防災政策の歩み(「防災1.0」~「防災3.0」)
- 我が国を取り巻く社会環境の変貌
 - ・経済社会活動の国際化、超少子高齢社会等
- 本提言の枠組み
 - ・「防災4.0」の特徴、自助・共助を支援する環境整備等

II. 気候変動に伴い予想される災害の激甚化

- 指標の動向
 - ・世界的な地球温暖化、我が国の気候変動の予測等
- 自然災害への影響
 - ・降水強度増加、「強い台風」増加、豪雨高頻度化等
- 既存想定を超える災害の激甚化
 - ・「〇年に1度」という従来の尺度の崩壊等

III. 取組の方向性

○住民・地域における備え

- ・住民自ら行動するための意識改革
- ・地方公共団体職員の主体的な備え
- ・地域の防災対策策定プロセスへの参画等コミュニティによる備え
- ・備蓄の推進、水害保険・共済の加入促進
- ・大規模水害時の広域避難のあり方検討 等

○企業における備え

- ・自然災害リスクの認識
- ・BCP/BCMの推進による事業継続性の確保
- ・保険や代替的なリスクファイナンス等多様な金融的手法の活用検討
- ・公的主体と企業間の情報やネットワークの連携強化

○情報通信技術の活用

- ・準天頂衛星やドローン等最新技術の活用
- ・ソーシャルメディア等を活用した地域コミュニティの強化
- ・情報リテラシーの向上
- ・民間の創意工夫による新たなサービスの創出 等

○基本的枠組み・視点

- ・復元力(レジリエンス)の確立、災害対応の検証、教訓に学び、備える持続的サイクルの必要性 等

IV. 今後の展開

- 「実践の場」の創出、防災推進国民会議・防災推進国民大会等における取組の展開 等